

## 5 キャッシュ・フロー計算書について

本市水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	平成30年度	平成29年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	604,015	733,498	△ 129,483
減価償却費	1,386,453	1,364,279	22,174
退職給付引当金の増減額(△は減少)	31,287	△ 41,766	73,053
賞与引当金の増減額(△は減少)	523	1,873	△ 1,350
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,805	△ 529	3,334
長期前受金戻入額	△ 233,690	△ 228,437	△ 5,253
受取利息及び配当金	△ 1,790	△ 1,685	△ 105
支払利息及び企業債取扱諸費	106,796	116,352	△ 9,556
固定資産除却損	39,885	36,885	3,000
固定資産売却損益(△は益)	△ 1,678	△ 1,628	△ 50
未収金の増減額(△は増加)	△ 5,283	△ 17,688	12,405
その他流動資産の増減額(△は減少)	13	8	5
未払金の増減額(△は減少)	△ 36,286	111,942	△ 148,228
預り金の増減額(△は減少)	△ 13,027	6,704	△ 19,731
小 計	1,880,023	2,079,808	△ 199,785
利息及び配当金の受取額	1,948	1,826	122
利息の支払額	△ 106,797	△ 116,352	9,555
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,775,174	1,965,282	△ 190,108
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の払戻収入	1,300,000	—	—
定期預金の預入支出	△ 700,000	—	—
有形固定資産の取得による支出	△ 1,684,117	△ 1,739,419	55,302
有形固定資産の売却による収入	3,378	3,699	△ 321
国庫補助金等による収入	214,335	364,764	△ 150,429
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 866,404	△ 1,370,956	504,552
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	800,000	900,000	△ 100,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 711,804	△ 641,795	△ 70,009
他会計貸付金による支出	0	△ 500,000	500,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	88,196	△ 241,795	329,991
資金増加額 (又は減少額)	996,966	352,531	644,435
資金期首残高	2,829,180	3,776,649	△ 947,469
資金期末残高	3,826,146	4,129,180	△ 303,034

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュフロー（CF）で表される。

前年度あった下水道事業会計への長期貸付が本年度はなかったため、財務活動によるキャッシュ・フローがプラスとなった。建設改良に伴う有形固定資産の取得など投資活動に支出する資金を、業務活動及び財務活動による収入で調達している。

資金期末残高は、前年度に比べて約3億303万円減少し、約38億2,615万円となった。資金期末残高と貸借対照表の現金・預金との差額7億円は、預金期間が1年を超える定期預金の額である。